



ほっと

第 39 号



交通安全



幌西地区連合町内会・幌西地区交通安全実践会



地域の方の温かさと幌西地区の絆の強さに支えられて

札幌市立幌西小学校
教 頭 河端 ユミ子

冬の訪れを知らせる「雪虫」が、今年は大発生しました。先日、本校の5年生が滝野宿泊学習で青少年山の家に行った際にも、あまりの雪虫の多さに外で食事をする事ができませんでした。こうした経験も自然の中で学習をすることの一つとして思い出に残ったことと思います。

雪が降ると、子どもたちは大喜びです。半面、学校はこれまで以上に子どもの登下校が心配です。「雪玉を作って、人や車にぶつけない」「道路が凍って滑りやすくなるので、注意して歩くように」「雪が降っていると、視界が悪くなり、横断歩道を青信号で渡っていても、運転手が気付くのが遅れて車が止まれないこともある」「周りをよくみるように。」このようなことを、毎日子どもたちに指導します。

冬の季節は、学校だけでは子どもたちを守り切れない場面がこれまで以上に増えてきます。学校では、子どもたちの安全を守るために繰り返し指導を行っ

ていきます。地域の皆様には、子どもたちの危ない場面を見かけましたらぜひ学校にお知らせください。

私が教頭として幌西小学校に赴任して半年が過ぎました。幌西まちづくりセンターの所長さんをはじめ、連町、単町の会長さんをはじめ、町内会長のみなさん、たくさんの方々にお世話になっています。登下校の際には、交差点に旗を持って立ってくださったり、青パト隊として校区を巡回して下さったりしているおかげで、大きな事故は起きていません。

地域の方々には、更にゲストティーチャーとしても地域の歴史や防災のことを教えに来ていただいています。9月には子どもたちが楽しめるイベントである幌西地区の運動会も計画し運営してくださいました。

いつも子どもたちのためにお力を貸して下さる地域の方々のおかげで、子どもたちを安心・安全な環境の中で健やかに育てていくことができます。心より感謝申し上げます。地域の方たちの温かさと幌西地区の絆の強さに支えられ、子どもたちが大切に守られているこの幌西小学校で、教頭としてこれからも日々奮闘して参ります。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

交通安全運動の取り組み

春 4月6日(木) 幌西小学校入学式に校門前で啓発活動を行いました。



夏 7月20日(木) 南警察署が実施した「札幌道中ひざくりげ」に参加しました。



秋 9月21日(木) 約60名のみなさんと共に西線9条の電停を中心に行いました。



今から実践！冬道の歩き方



○靴の裏全体をつけて歩きましょう
 できるだけ足の裏全体を路面につける気持ちで歩きましょう。
 「すり足」のような歩き方が有効です。

○小さな歩幅で歩きましょう
 歩幅が大きいと足を高く上げるため、体の揺れが大きくなり、転倒しやすくなります。
 「ペンギン歩き」がおすすめ。



○足幅は少しあけましょう
 20センチぐらい足幅を開くと転びにくくなります。



○飛び出しに気を付けて
 雪がつもった車や雪山でかげになることがあります。
 車は急に止まれません。
 左右に注意してわたりましょう。

○ながら歩きはやめましょう
 気を取られて、足元の注意が低下します。

「交通安全川柳」つくってみませんか

交通安全について、川柳を作りながら楽しく考えてみませんか？ 川柳は五七五のリズムでユーモアや風刺をする十七音です。口語で自由に交通安全をひねってください。幌西地区に住んでいる、幌西地区で働いている、幌西地区に遊びにくる、など、だれでも応募できます。できあがった交通安全川柳は、幌西まちづくりセンターにお持ちください。（応募期間：令和6年1月31日まで・FAX可）次号「ほっと」紙上で掲載させていただく予定です。優秀作品5作品には500円分QUOカード進呈！

下記は東京指定自動車教習所協会主催の第14回交通安全川柳コンテスト入選作品です。

- 最優秀賞 「見るべきはスマホじゃなくて進む先」……………(ペンネーム みみみ様)
- 優秀賞 「着信音つられてよそ見事故の元」……………(ペンネーム たむ様)
- 優秀賞 「イヤホンを外して聴こう町の音」……………(ペンネーム こばん様)

幌西地区交通安全川柳応募用紙 幌西まちづくりセンター
 TEL561-3256 FAX552-9265

作品	
ペンネーム	電話番号
お名前	
ご住所	